



記事を読んで、問いに答えましょう。

**解答例**

2021年8月29日朝刊西部版

## 森町・小国神社 50年に一度「檜皮ぶき」

# 「お屋根替え」児童ら見学

森町一宮の小国神社は28日、約50年に一度行う同神社の「お屋根替え」の見学会を開いた。地元・宮園小の児童や保護者ら約40人が伝統技術を見たり、実際の作業を体験したりした。

## 材料作り、くぎ打ち挑戦



職人の説明を聞きながら作業現場を見学する児童ら  
|| 森町の小国神社

社殿群の屋根を解体し、ヒノキの皮を重ねる「檜皮（ひわだ）ぶき」を行っている。2024年の完成予定。檜皮ぶきは東大寺（奈良県）、出雲大社（島根県）でも用いられる技法で、昨年12月に国連教育科学文化機関（ユネスコ）の無形文化遺産に登録された。児童らは施工を請け負う村上社寺工芸社（兵庫県）の職人の説明を聞きながら作業現場を見学した。檜皮ぶきの特徴やぶき替え方法などを学んだ。檜皮の材料作りと檜皮に竹くぎを打つ作業も挑戦した。

6年生の天野翔君（12）は「（檜皮を）竹のくぎで留められるのがすごいと思った。早く新しくなった本殿を見たい」と話した。

（袋井支局・仲瀬駿介）

- ①見出しにある「檜皮ぶき」は何と読みますか。ひらがなで書きましょう。（ **ひわだ** **ぶき** ）
- ②「檜皮ぶき」の技法を使っている寺社は小国神社のほかどこがありますか。（ **東大寺や出雲大社** ）
- ③「檜皮ぶき」の技法は何に登録されましたか。（ **国連教育科学文化機関(ユネスコ)の無形文化遺産** ）
- ④「檜皮ぶき」の技法では、何のくぎを使っていますか。漢字で書きましょう。（ **竹** ）
- ⑤記事の「お屋根替え」は何年に一度行いますか。（ **約50** ）年

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

（小学校高学年～中学校／社会、技術・家庭、総合）